

臨床研究に関する公開情報

平成29年3月27日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名：「DPP-4 阻害薬投与中に発症した水疱性類天疱瘡8例の検討」

研究期間：2017年4月から2017年12月までを予定しています。

対象：2009年12月から2016年11月に当科で受診された方
(水疱性類天疱瘡と診断された患者さん)

研究目的：水疱性類天疱瘡は自己免疫が関与する水疱症の中で最も頻度の高い疾患です。原因不明のものが多い一方で、さまざまな薬剤が原因で発病するとも言われており、最近では糖尿病治療薬の一つであるDPP-4阻害薬との関連性が報告されています。どのような患者さんがDPP-4阻害薬による薬剤性の水疱性類天疱瘡を発症しやすいかを調べることで、今後の診断や治療に役立てることができると考えております。

方法：診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、既往歴、内服薬、血液検査結果、病理組織検査結果等があります。研究成果は学会、および論文にて公表します。

個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：

研究責任者： 湊はる香

兵庫県立尼崎総合医療センター 皮膚科
〒660-8550 兵庫県尼崎市東灘波町 2-17-77
TEL： 06-6480-7000 FAX： 06-6480-7001